

試験概要

試験開始

- ① 菌液の接種 (操作1回目)
- ② 試験片の培養

菌液接種 24時間後

- ③ 拭き取り操作 (1回目)
- ④ 試験操作 2回目
(①～②を行う)

菌液接種 48時間後

- ④ 試験操作2回目続き
(拭き取り操作2回目を行う)

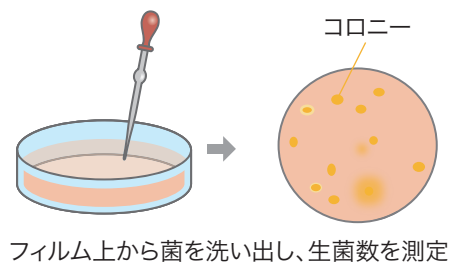
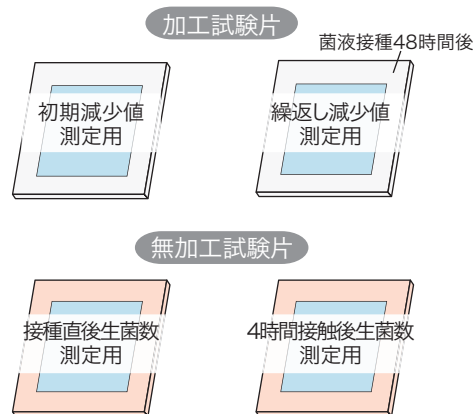
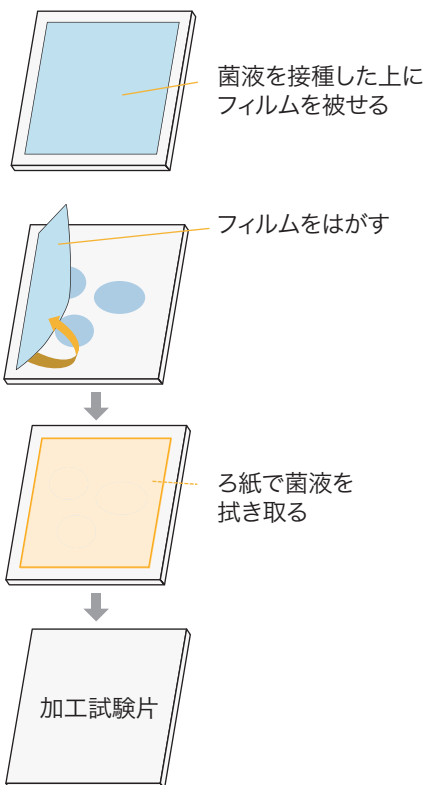
菌液接種 48時間後

(拭き取り操作2回目後)

- ⑤ 試験菌の接種
- ⑥ 試験片の培養

菌液接種52時間後

- ⑦ 試験菌の洗い出し、
生菌数の測定



① 50mm角のプレート状の検体に試験菌液0.4mlを接種し、被覆フィルム(4×4cm)を被せる。
※試験は無加工試験片、加工試験片で実施。

② 菌液を接種した試験片を35℃±1℃、相対湿度90%以上で24±1時間培養する。

③ 試験片からフィルムを剥がし、滅菌済みの紙を用いて、菌液を除去する。

④ ①～③を同様の手順で再度実施する。

ここまでが
繰り返し操作に
なるよ!



⑤ 加工試験片と無加工試験片の菌液を接種していない試料と48時間(④まで実施した試料)のそれぞれに試験菌液0.23mL接種し、被覆フィルム(3×3cm)を被せる。

⑥ 菌液を接種した試験片を35℃±1℃、相対湿度90%以上で4時間培養する。

⑦ 4時間後、試料上から菌を回収し、生菌数の測定を行う。

最後に
生菌数の測定
だね!



※他のSIAAマーク同様に、使用される環境等考慮した所定の耐久性処理(耐水、耐光)が必要となります。適切な処理はアイテムや使用環境により変化しますので、詳細はSIAA事務局までお問い合わせください。
(SIAA事務局 Tel:03-6302-0021)

上記の内容についてご不明な点等ございましたら、こちらまでお問い合わせください。